

FIS 告知 8 月 11 日付「フッ素ワックス禁止措置の全面実施延期」の解釈について

[FIS postpones full implementation of fluor wax ban \(fis-ski.com\)](https://www.fis-ski.com/en/news/2022/08/11/fis-postpones-full-implementation-of-fluor-wax-ban)

国際スキー・スノーボード連盟（FIS）は、フッ素検知機器のさらなる改良およびFIS競技の高潔性（インテグリティ）保持に向けた手順定義に追加で時間を確保するため、フッ素ワックス禁止措置の全面実施を2023/2024シーズンに延期することを発表した。

これは、各国スキー連盟および国際バイアスロン連合（IBU）の専門家と共にフッ素検知機器の広範なテストを行った結果、フッ素を含まない新しいワックスが正確な検査結果を出すための確認にさらなる時間が必要であるとの結論に達した。これらの新しいワックス製品のテストは現在進行中である。

FISは、2022/2023シーズンにおいて、サンプルの体系的な収集とテストを強化する。また、各国スキー連盟およびIBUとの緊密な連携および協力は、フッ素検知機器の精度をさらに洗練させ、2023/2024シーズンにフッ素ワックス禁止措置を公正に全面実施することを保証する実用的な実施手順および規則を定義するために、引き続き役立つものとなる。

フッ素ワックス禁止措置全面実施に向けた3つのカテゴリー

① フッ素成分を含むすべてのワックスの使用禁止

2020/2021シーズンより国際競技規則（ICR）222.8条で規定され使用禁止

② フッ素検知機器の導入

フッ素検知機器の精度をさらに洗練する必要性がありフッ素検知機器の2022/2023シーズン導入は延期

③ 違反への罰則規則整備および施行

フッ素検知機器導入による検査が延期となり違反に対する正確な判定ができないことから罰則規則整備および施行の2022/2023シーズン導入は延期

競技用品の準備に使用されるフッ素製品に含まれる化学物質による人体や環境への悪影響を低減することは最優先事項であり、フッ素検知機器導入および違反への罰則規則整備および施行に先んじてフッ素成分を含むすべてのワックスを使用禁止とした。